

## 本時の展開

< 本時の目標 >

伝えたいことを効果的に伝えるための工夫に気づき、進んで話し合いに参加する。

< 本時の展開（13/15時間） >

過程	主な学習活動	形態	指導上の留意点	評価 (評価の観点) (評価方法)
導入	1 本時のめあてを確認する。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のグループの工夫点を自分たちも取り入れ、お互いによりよいものにしていくという見通しを持たせることで、本時の意欲付けをする。</li> </ul>	<p>目的に応じた伝え方の工夫に気づき、自分の考えを伝えている。(話す・聞く能力) (観察・ワークシート)</p> <p>十分満足できると判断される状況</p> <p>目的に応じた伝え方の工夫に気づき、発表者の意図を考えて、進んで自分の考えを伝えている。</p> <p>努力を要する状況への手立て</p> <p>資料提供の仕方、話し方など、聞く観点を示すことでよい点に気付かせる。</p>
	伝えたいことがよりよく伝わる工夫を見つけて交流しよう。			
	2 一つ目のグループの発表を聞く。 ・発表を聞く。 ・チェック表に気付いたことを書く。	一斉 個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の最後に「どんなことを工夫したと思いますか？」等、目的に応じた伝え方の工夫についての投げかけをさせることで考えること、話し合うことを焦点化する。</li> <li>机間指導でチェック表の個人の気づきを把握し、「ここはこうした方がよく伝わるのではないか。」などのアドバイスができる子にはさせる。</li> </ul>	
	3 一つ目のグループの提案について、意見を交流し合う。	一斉		
	4 二つ目のグループの発表を聞く。 ・発表を聞く。 ・チェック表に気付いたことを書く。	一斉 個人	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つ目のグループとテーマが異なるグループに発表させる。</li> </ul>	
	5 二つ目のグループの提案について、意見を交流し合う。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>「二つの写真を比べて見せてくれたので、〇〇のことが分かりました。」等、伝える目的と工夫を関連させた発言を取り上げ、評価する。</li> </ul>	
まとめ	6 学習を振り返る。	個人 一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>「〇〇があったので〇〇だと分かりました。」等、目的と工夫を関連させた言葉を使って、まとめを書かせる。</li> </ul>	
	7 次時の見通しを持つ。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的に応じた伝え方の工夫がされていたこと、その工夫に気付いたことを評価する。</li> <li>発表して気付いた改善点、他グループの工夫等を、よりよい番組にしていくために活かしていくことを確認する。</li> </ul>	